

2013年



第52回 NIE土曜サロン

「命」テーマに記事探し



歌舞伎の話に耳を傾ける参加教諭ら

2013年最後となる第52回NIE土曜サロンが11月23日、読売新聞東京本社(東京・銀座)で開かれ、新聞活用を实践する教諭ら16人が参加した。来年1月からは大手町に完成した新社屋に本社が移転するため、3年余りを過ごした銀座の仮社屋での最後の開店でもあった。

今回は、歌舞伎などの伝統芸能を担当する文化部の塩崎淳一郎記者が、子どものころに伝統芸能に触れる大切さ、そうした環境作りを大人が意識的に行う必要性について語った。また、昨年来、中村勘三郎、市川団十郎という大物俳優が亡くなった折の緊張感あふれる取材の話に、参加の先生たちは聞き入った。

鹿野川喜代美・本社NIE企画デザイナーのワンポイントアドバイスのコーナーでは、「命」「生きる」をテーマに、実際に当日の朝刊から記事を探してみた。働くことの喜び、外国人旅行者による人命救助、国際問題など、実に多様な内容が集まり、そこからの授業展開について話し合った。冬休みの宿題にできるという声も上がった。